

あそぼろ

人と人、
人と社会をつなぐ

vol.
120

令和8年2月00日発行





育成会ノート



子ども会の皆さまへ
このノートは

目次

- P2~P3 ▶ 助成金報告
- P4 ▶ 育成者大会
- P5 ▶ オセロ大会
- P6 ▶ 防災まちあるき
- P7 ▶ 自然体験、講師団派遣
- P8 ▶ 兵庫県立図書館だより

-  かならず読んでください
-  日常活動で活かしてください
-  ファイルに残してください
-  各戸回覧してください





兵庫県子ども会連合会では、活発な子ども会活動の推進のために、各ブロック・市町子連また単位子ども会への活動助成に取り組んでいます。

いきいき子ども会

9市・町子連で実施し合計881,760円の助成 ※1市・町あたりの助成金10万円以下(予定)

地域子ども会の活性化を視野に入れ、いきいきとした子ども会の推進に向けた事業・活動を実施する市町子連への助成

市町子連	事業名	日程	会場	参加者	目的・内容
三木市	子ども会ともだちキャンプ	7/19 ~ 21	三木ホースランドパーク エオの森研修センター	49名	子どもたちが、自然に恵まれたキャンプ場での仲間やリーダーとの共同生活や野外体験活動を通じて、友達を増やし、たくましい心を育て、地域の子どもの活動並びに青少年活動のリーダーとして成長することができる。具体的には、2泊3日のプログラムで、リーダーと共にインシアティブゲームを行った後、野外調理場で食事を調理したり、子ども夏まつりを開催するなど、共同生活や野外体験活動を行う。
稲美町	夏休み無料映画上映会	8/2	稲美町立文化会館 コスモホール	182名	映画「怪盗ブルーのミニオン超変身」を稲美町立文化会館コスモホールで上映する。開場から映画上映開始までの30分間は、いなみ文化の森が落成するまでの軌跡や落成後の歴史を振り返る動画を流し、参加者にいなみ文化の森について知ってもらおうと共に、稲美町への愛着を一段深めてもらう。映画上映後にアンケートを実施し来年度に活かす。またアンケート回答者には稲美町グッズをプレゼントする。
南あわじ市	①第21回南あわじ市子ども会 仲良し将棋大会	8/3	南あわじ市役所第2別館 3階多目的ホール	105名	南あわじ市子ども会育成連絡協議会の主催で将棋大会、オセロ大会、及び球技大会を開催する。各大会は予選リーグ、決勝トーナメント方式、またはトーナメント方式で執り行い、市内地区子ども会、市内小学校から参加者を募集する。各大会の開催にあたって子どもの健全な育成を目指し、子ども会の相互のふれあいの輪を広げるとともに、自主的な活動の促進に努めていきたい。
	②第13回南あわじ市子ども会 仲良しオセロ大会	8/3	南あわじ市役所第2別館 3階多目的ホール		
	③第21回南あわじ市子ども会 親善球技大会	9/20	南あわじ市三原健康広場		
宝塚市	室内体験イベント (けん玉、ボードゲーム)	8/9	宝塚市中央公民館	70名	けん玉、ボードゲームなどの室内ゲームイベントを実施。宝塚市子ども会の認知拡大ため、会員以外にもイベントを宣伝し参加してもらう。けん玉では集中力、体感などの全身運動と共に、世代を超えた交流、仲間と共に楽しむことでコミュニケーション能力、協力し合う姿勢を学びます。ボードゲームでは戦略的思考と対話により、協調性やルールの理解を深める機会を作ります。
加東市	第14回夏休み大会	8/20	淡路島	39名	淡路島にてうどん打ち体験をしたり実際に打ったうどんを試食したりして親子間及び参加者同士の交流を深めます。淡路島での美しい自然を楽しみながら、うどん打ち体験を通じて他子ども会の参加者と交流できると好評のイベントです。家では出来ない体験ができるため、子ども達の新たな学びにもつながります。
芦屋市	秋のバス旅行	10月	丹波 二森公園と 遊び村ぼうけん広場		二森公園で黒豆収穫体験、一面に広がるコスモス畑を見学、人と自然の博物館の館長さんの話を聞き、自然観察をする。黒豆収穫は毎年恒例となっているが、都市では体験できないとの事なので継続していきたい。今回は自然に触れることに重点を置き、自然についての色々な話を聞きながら実際に体験する。
西宮市	リーダーおよびJr. リーダー育成事業	11/1 11/16 11/30	若竹生活文化会館、 六湛寺公園および 西宮市役所周辺	37名	・事前研修会(普通救命講習)および子ども会大会実行委員会 ・子ども会大会にてブース運営 第75回子ども会大会を市政100周年記念事業の中でブースを運営する。子ども会らしく参加子どもたちの為のブースを子どもが企画運営する。
新温泉町	町文化祭出店	11/3	町民センター 温泉総合支所	29名	・地域住民の異年齢交流促進 新温泉町子連が町文化祭に出店する事で交流の輪を広げ、地域住民が豊かに繋がることにより、「人づくり」や「地域づくり」を推進する。 ・ふるさと意識の醸成 若者の町外流出という本町の現状を踏まえ、地域の魅力を認識する機会とし、「ふるさと新温泉町」に対する愛着と誇りに思ふ気持ちを高め、ふるさと意識を醸成する。 ・町子連活動の周知 写真店により、子ども会の目的「人と人 人と地域をつなぐ」を町民に啓発する。
尼崎市	他都市交歓会「雪遊び」	1/31 ~ 2/1	尼崎市立美方高原 自然の家「とちのき村」	33名	美方高原自然の家「とちのき」での、1泊2日の宿泊を伴う雪遊び。①かまくら作り、そり遊び②天体観測会(好天時)/体育館でのレクリエーション(荒天時)、雪上運動会。雪の降らない尼崎の子どもを、2日間目一杯雪で遊ばせると共に、好天時は日本海側の夜空を天体観測する。併せてリーダーは年間の活動成果として企画運営にあたる。

指導者・育成者研修会

8市・町子連で実施 各30,000円の助成(予定)

子ども会振興に必要な知識や意識の醸成のため、地域の子どもの指導者・育成者を対象に実施する研修会への助成

市町子連	事業名	日程	会場	参加者	目的・内容
姫路市	少年団体指導者研修会	5/10	姫路市商工会議所	46名	青少年のインターネット利用についてのトラブルや注意点について
稲美町	子どもから大人まで 楽しめるイベントづくり	5/17	ふれあい交流館 2階ホール	49名	子どもから大人まで楽しめるイベントづくり
たつの市	令和7年度たつの市連合 子ども会総会・講演会	5/25	たつの市役所多目的ホール	43名	「子どもの好奇心を育み、じぶんごととしてチャレンジ精神を高めよう!」 ~親として子ども会組織としてできることを考えてみよう~
伊丹市	2025年度 伊丹市子ども連絡協議会 指導者・育成者研修会	6/13	伊丹市立総合教育センター	30名	・講義(子ども会安全啓発(KYT)) ・災害時の食の体験 ・子どもの手による子ども会活動について ・その他(オリジナルピンゴなど)
西宮市	子ども会育成者研修会	7/2	若竹生活文化会館 3階講堂	60名	1部:KYT(危険予知トレーニング)~子ども会活動を安全に行うために~ 2部:子どもに多い応急手当法~熱中症・三角巾を使った止血法など~
芦屋市	①KYT研修 ②ゲーム研修	①7月 ②11月	芦屋市青少年センター		①単位子ども会のためのKYT研修 ②各単位子ども会の活動で使えるゲームを参加者と一緒に実習
加東市	アロマジェルキャンドル作り体験	8/20	淡路島	39名	アロマジェルキャンドル作り
尼崎市	ハンドクラフト	1/18	中央北生涯学習プラザ	30名	陶芸体験の入門編として、絵付の体験を行う。試行として、幼児や小学校低学年の子ども会員(7名)を参加させ、その様子を今後の活動に反映させる。

子どもの手による子ども会づくり

46団体で実施(予定)

「子どもの手による子ども会」の実現に向け、子どもが主体的かつ具体的に取り組む子ども会活動への助成

ブロック	市 町	助成金額(円)
阪神	尼崎市 2	60,000
	西宮市 2	60,000
	芦屋市 3	45,000
	伊丹市 4	60,000
	川西市 1	30,000
	猪名川町 1	30,000
	13団体	285,000
東播磨	加古川市 3	90,000
	3団体	90,000
北播磨	西脇市 3	89,004
	加東市 1	30,000
	4団体	119,004

ブロック	市 町	助成金額(円)
西播磨	たつの市 3	53,944
	赤穂市 2	48,000
	宍粟市 2	33,585
	太子町 4	96,000
	上郡町 2	46,700
	13団体	278,229
	豊岡市 1	30,000
但馬	新温泉町 1	28,000
	2団体	58,000
丹波	丹波市 3	74,187
	3団体	74,187
淡路	淡路市 4	114,800
	洲本市 1	30,000
	南あわじ市 2	49,945
	7団体	194,745

「子どもの手による子ども会づくり」活動紹介

子どもたちが一年を通して、地域や仲間とともに多くの体験を重ねました。防災体験や季節行事、自然活動や食を通じた交流の中で、楽しみながら学び、思いやりや協力する心を育てている様子が印象的でした。また、学年を超えて関わる機会が多く、年上の子が年下の子を気遣い、支える姿や自分の役割を意識して行動する様子が育まれていることも行事報告から伝わってきました。

今後も、子どもたちが安心して参加し、失敗や挑戦を重ねながら仲間とともに学び合える場が続くことを期待するとともに、地域で過ごした経験が心に温かな思い出として残り、子ども主体の活動がさらに広がっていくことを願っています。

淡路市:里子ども会
「みんなでつくろう ハロウィンパーティー」



尼崎市:園田西地区子ども会連絡協議会
「防災(学校)キャンプin園田北小」



豊岡市:妙楽寺区子ども会育成会
「野外活動」

令和7年度 兵庫県子ども会育成者大会

日時:令和7年11月8日(土) 13:00~16:00
 場所:神戸クリスタルホール 参加者:70名

毎年11月に開催する「兵庫県子ども会育成者大会」では、子ども会活動で功績のあった指導者・育成者、また優れた活動を展開している団体の表彰式を執り行います。

令和7年度の受賞者は、兵庫県知事表彰2名、兵庫県社会福祉協議会会長表彰10名、兵庫県子ども会連合会理事長表彰17名で、永年子ども会活動を通して子どもたちの笑顔を支えてきた方々の、今後ますますのご活躍を期待しています。

また、これからの子ども会活動に子ども達の未来を子ども達自身が主体的に考えて活動する為の講演会を行いました。講師は海の豊かさで、地球の未来を守ることをテーマに、ビーチクリーンや環境教育活動に取り組む高校生大林想汰さんに務めていただきました。講演会終了後は廃材(ペットボトルキャップ)を使ったアップサイクルのアクセサリ作りを体験するワークショップを開催しました。



ワークショップ

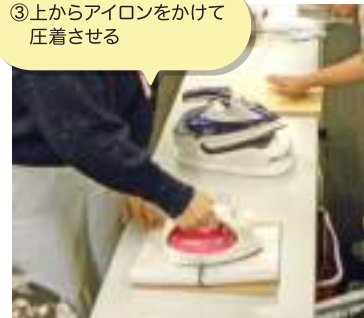
ペットボトルキャップを使ったアップサイクルアクセサリ作り

①ペットボトルキャップを細かく切断して断片を作る。



②複数の色を混ぜて集める。

③上からアイロンをかけて圧着させる



④接合できたら端を切断、綺麗に加工して完成!



【講師】大林 想汰 さん▲
 兵庫県立大学附属高等学校 第3学年

第12回 兵庫県子ども会オセロ大会

日時:令和7年12月13日(土)10:00~13:30 場所:神戸クリスタルホール

県内各地区を勝ち抜いた子どもたち(低学年31名、高学年32名)が集う、年に一度のオセロ大会も、今回で12回目を迎えました。静寂の中に張りつめる緊張、盤上で繰り広げられる一手一手に込められた戦略。その真剣な眼差しに、大人たちも息をのむ瞬間が何度も訪れました。

子どもたちの努力と集中力が光る一手一手に、大人たちも見守りながら、会場は緊張感に包まれました。オセロを通じて培った挑戦する力が、子どもたちの未来への成長につながることを心から願っています。



低学年の部 入賞者

順位	氏名	学年	所属地域
1	藤原 朔杜さん	小2	東播磨・播磨町
2	吉岡 陽翔さん	小3	淡路・洲本市
3	谷川 慶さん	小3	東播磨・稲美町
4	八木 窓さん	小3	阪神・猪名川町
5	山根 大典さん	小2	東播磨・加古川市
6	宮崎 旭さん	小3	北播磨・多可町
7	寺谷 勇信さん	小3	阪神・尼崎市
8	立田 葵椰さん	小3	淡路・南あわじ

高学年の部 入賞者

順位	氏名	学年	所属地域
1	柴田 琉丘さん	小6	中播磨・姫路市
2	西角 玲緒さん	中1	北播磨・加東市
3	松岡 知瀬さん	小5	但馬・養父市
4	家前 旬さん	小6	但馬・香美町
5	八木 航さん	小6	西播磨・たつの市
6			
7	小椋 将虎さん	小6	阪神・尼崎市
8	込山 晴翔さん	小4	西播磨・赤穂市

今も昔も自然いっぱい、 丹波の地で体験活動を楽しもう!

日時:令和7年10月12日(日) 10:00~16:00

場所:丹波市立たんば恐竜博物館／山南住民センター／元気村かみくげ

今回実施した自然体験では、太古の自然に触れながら、恐竜が生きていた時代の環境や地球の変遷について学び、科学や自然への興味・関心を深める機会となりました。また、自然環境の大切さや、持続可能な社会について考えるきっかけにもなりました。

当日は、専門的な知識を持つ研究者の方々を講師として迎え、化石発掘体験、博物館での展示解説を含むミニツアー、化石レプリカ作り、化石クリーニング体験など、盛りだくさんの内容で実施しました。参加した子どもたちはもちろん、大人も夢中になって取り組む姿が多く見られ、地域に眠る貴重な化石の存在を知り、驚きや感動の声があがっていました。

参加者からは「子どもも大人も楽しめる企画だった」「一日を通して貴重な体験ができた」「恐竜について新しい発見がたくさんあった」など、多くの好評な感想が寄せられました。親子で学び、大人も子どももワクワクしながら体験し、自然や歴史への関心を深める有意義な一日となりました。



◀展示解説



化石クリーニング▼



恐竜の歯のレプリカ作り▼



▶化石発掘体験



◀展示解説



子ども会活動振興講師団の派遣

県子連では、子ども会活動の在り方や指導技術、子どもを取り巻く諸問題についての研修会・学習会をはじめ、地域づくりの支援として講師派遣に取り組んでいます。

令和7年度活動実績(5件)

講師派遣先:猪名川町子ども会連絡協議会、西播磨子ども会連絡協議会、
たつの市連合子ども会、宍粟市子ども会連絡協議会
内 容:KYT研修会、けん玉体験

楽しく学ぼう災 子ども会 防災まちあるき 2025 in 宝塚

日時:令和8年2月23日(月・祝)10:00~16:00

場所:宝塚市中央公民館

防災まちあるきは、地域の中を実際に歩きながら、災害が起きたときに危険になりそうな場所や、いざというときに役立つ場所をみんなで確認する取り組みです。

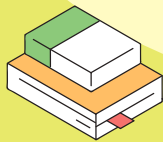
1995年に発生した 阪神・淡路大震災 では、建物の倒壊や道路の狭さなどが原因で、避難や救助が思うように進まなかったケースが多く見られました。こうした震災の教訓を、自分たちの住んでいる地域にあてはめて考えることがとても大切です。

まちあるきを通して地域の様子を知ること、災害をより身近な問題として感じることができ、日頃の備えや地域での助け合いの意識も自然と高まります。私たちは、そのような思いを大切にしながら、防災まちあるきに取り組んでいます。

防災まちあるきに参加した子どもたちからは、「いろんな人と一緒に学べた」「町のいろいろな場所を回れた」「非常食がおいしかった」など、交流や体験型プログラムへの好評の声が寄せられました。

また、住み慣れた宝塚市のまちを歩きながら、「道が細い」「古い建物がある」「狭い道ではすぐに逃げられない」など、普段は気づかなかった危険にも気づく機会となりました。「備えられるうちに備えたい」「家族で集合場所を決めておく」「自分の身は自分で守る」といった前向きな声もあり、防災を“自分ごと”として考える大切さを学ぶ機会となりました。





兵庫県子ども会連合会は、兵庫県立図書館と活動連携しています。

vol.10

兵庫県立図書館だより

～新年度に向けて～

新年度を迎え、“新たな事に取り組まないといけないが、どうしたらよいかわからない”とお悩みの皆さん。そんな時に役立つのが本です。

本には、たくさんの情報が載っていて、“わからない点”はもちろん、その周りのことについても知識を得ることができるので、インターネットなどで、“わからない点”をピンポイントで調べるよりも、“取り組むべき事”の全容を、よりしっかり理解することができます。

兵庫県立図書館は、皆さんの“わからない”を解決することのお役に立てると思います。新年度も様々な講座やイベントなどを開催しますので、ぜひ県立図書館をご利用ください。

全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会2025

12月14日(日)に「全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会2025」を甲南大学の岡本キャンパス8号館で行いました。ビブリオバトルとは、バトラーと呼ばれる出場者がお気に入りの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介し合う知的書評合戦です。本の紹介時間は5分間で、バトラーそれぞれの本紹介の後に、バトラーと参加者全員で3分程度のディスカッションを行います。そして、投票により「もっとも読みたくなった本」をチャンプ本として決定します。

兵庫県大会では、バトラーである高校生39人が5グループに分かれて予選を行い、勝ち抜いた5名による決勝戦で今年度のチャンプ本が決定しました。

今年度のチャンプ本は、『同志少女よ、敵を撃て』(逢坂冬馬著 早川書房刊)でした。

チャンプ本を紹介された兵庫県立芦屋国際中等教育学校の河口茉莉さんは、2月8日(日)に東京都港区の「TAKANAWA GATEWAY CITY」で開かれた全国大会に兵庫県代表として出場しました。

来年度も「全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会 2026」(仮称)の開催を予定しています。



子供向け一般講座 「光のミラクルサイエンス教室」

9月21日(日)に高砂市立荒井小学校の高田昌慶氏を招いて小学生を対象に科学実験教室を開催しました。光は赤から紫の7色で構成されており、その割合が変わることで様々な物体の色が違って見えることを子どもたちが実際に体験しながら学ぶことができました。また、光の小箱というものを工作してお土産も持って帰っていただきました。



開館時間 9:30~18:00

休館日 毎週月曜日・毎月第3木曜日・年末年始(12月29日~1月3日)
特別整理期間(5月末1週間程度)

アクセス JR明石駅、山陽明石駅で下車、北へ800メートル(明石公園内)
当館に専用駐車場はありません。お車でお越しの際は、公園内または近隣にある有料駐車場をご利用ください。

ホームページ

Facebook

X(旧:Twitter)

Instagram



子どもeye

本号では、今年度の取り組みや活動の様子をご紹介します。先日閉幕したミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックの感動が、まだ心に鮮やかに残っています。世界の舞台で最後まで諦めず挑戦する選手たちの姿は、日々たくましく成長していく子どもたちの姿とも重なり、希望と勇気を与えてくれました。

た。子どもたち一人ひとりが、それぞれの可能性を広げながら大きく花を咲かせ、未来へ羽ばたいていくことを心より祈り、その力を信じています。皆さまのご理解に感謝を込めて「育成会ノートvol.120」をお届けします。